

(仮訳)

日・フィリピンヘルスケア合同委員会第2回会合の協議概要

1. 2019年2月21日に署名された日本とフィリピンとのヘルスケア分野における協力覚書の枠組みの下、継続的な協力と対話を促進するため、協力覚書に基づくハイレベルの諮問機関である日・フィリピンヘルスケア合同委員会（以下、合同委員会）の第2回会合が2023年3月17日にマニラで開催された。
2. 第2回会合はフィリピンが主催し、マリア・ロサリオ・ベルヘーレ保健大臣代行が議長を務めた。日本側は、伊藤直樹国際保健担当大使兼内閣府健康医療ディレクターが共同議長を務めた。
3. 合同委員会は、フェルディナンド・マルコス・フィリピン共和国大統領の2023年2月8日から12日までの日本公式訪問時における、ヘルスケア協力を支持した日・フィリピン共同声明を歓迎した。この共同声明において、両首脳は合同委員会第2回会合での協議への希望を表明している。
4. 合同委員会は、2021年9月29日に日本がオンラインで主催した合同委員会第1回会合以降の、協力覚書の下での様々な協力分野における両国の共同の努力による進展を認めた。
5. 合同委員会は、協力覚書の下での様々な協力分野に関する共同プロジェクト及び提案されたイニシアティブに関する最新の状況について協議した：
 - a. ヘルスケア分野におけるICTの推進について、合同委員会は、スマートウェルネスシティ構想の最新の状況を紹介し、この分野において協力の可能性がある他の活動と共にその実施を推進する関与を再確認した。
 - b. 日・フィリピン間のヘルスケアに関する官民部門の知見の共有について、合同委員会は、医療ツーリズム及びヘルスケア分野の官民連携の推進に関するそれぞれの国の取り組みについて協議し、これらの分野における協力をさらに推進する意向を表明した。

- c. 先端医療技術、医薬品及び医療機器について、合同委員会は、アジア地域における国際臨床試験・治験を推進する現在の取り組みに関する最新の状況を歓迎した。さらに、フィリピン食品医薬品庁と厚生労働省との間の協力覚書の署名に期待を示した。

 - d. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジについて、合同委員会は、フィリピンにおける保健財政及び公的医療保険制度の進展に向けた能力構築活動を推進することを決めた。

 - e. 高齢者介護のための人材育成について、合同委員会は、ヘルスケア分野の参考資料を展開することによる知見の共有の推進に期待を示した。
6. 合同委員会は、両国にとって相互利益のあるイニシアティブを育成することの重要性を認識し、現在進められている活動の実行に対して支持を表明するとともに、協力覚書で述べられたすべての協力分野をカバーするための継続的な協力を懇願した。
7. 合同委員会は、協力活動の進展を確保するため、定期的な二国間の協議の重要性を確認した。
8. 2024年に日本が主催する合同委員会第3回会合の開催に期待を示した。